

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/22 (9/15との比較)	9/22 (9/15との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	2.11% (+0.02)	90.77円 (▲0.05%)	+3.7% 2017年2Q	1.00%	小売売上高やCPI（消費者物価指数）は市場予想を下回るも、前回より上昇。米国の経済政策が意識される中、国債利回りは小幅上昇。カナダドルは対円で下落。	NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉の第3回会合を27日まで予定。自国の権益を確保できるかが焦点。米国の金融政策や中銀当局のコメントなどの動向にも注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB	8.43% (▲0.27)	35.84円 (+0.58%)	+0.3% 2017年2Q	8.25%	中銀はインフレーションレポートを公表。成長率見通しを引き上げ、インフレ見通しを引き下げた。国債利回りは低下。レアルは対米ドルで下落、対円で上昇。	経常収支などの発表を予定。債券市場は中銀の緩和的な政策スタンスなどから堅調に推移すると見込むも、為替市場は政治的不透明感の残存などから上値の重い展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	6.60% (▲0.08)	6.31円 (+0.58%)	+1.8% 2017年2Q	7.00%	米国の年内追加利上げ観測の高まりから米ドル高が進行する中、メキシコ市近郊で大地震が発生したこともペソの下押し要因となり、ペソは対米ドルで下落、対円では上昇。国債利回りは低下。	金融政策決定会合を予定。市場予想では政策金利の据え置きを見込む。NAFTA再交渉や、中銀の金融政策の動向をにらみつつ、債券・為替市場ともに神経質な展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/22 （9/15との比較）	9/22 （9/15との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.79% （+0.05）	89.17円 （+0.54%）	+1.8% 2017年2Q	1.50%	中銀が公表した議事録で、緩やかな成長改善の見通しや、住宅投資が依然として高水準を維持する見込みであることなどが示され、国債利回りは上昇。オーストラリアドルは対円で上昇。	民間部門信用などの発表や副総裁の講演を予定。鉄鉱石の価格上昇が一服している中、中国の製造業PMIや米国の政治動向に注目しつつも債券・為替市場はレンジ内の推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	3.00% （+0.06）	82.02円 （+1.41%）	+2.5% 2017年2Q	1.75%	4-6月期のGDPは1-3月期よりも前期比の伸びが上昇。ただし同時期に開催されたスポーツイベントによる入国者増加で成長率が押し上げられた面も。ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	国会選挙で与党国民党が第1党となるも過半数割れ。第3党との連立を志向するが第2党の労働党を中心とした連立で組閣される可能性も。景気とインフレの落ち着きから、金融政策決定で政策金利は据え置かれる見込み。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.60% （+0.06）	14.35円 （+1.81%）	+0.2% 2017年2Q	0.50%	金融政策決定会合では政策金利の据え置きを決定。中銀による政策金利予想では、2018年に利上げを開始する可能性があることを示唆。利上げに前向きと解釈され、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは上昇。	経済指標は緩やかなペースながら拡大基調が続いており、小売売上高でもその傾向が続いているかが注目される。また、総裁をはじめとする中銀高官の発言が多数予定されており、今後の金融政策の姿勢を探る上で重要。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/22 （9/15との比較）	9/22 （9/15との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BBB-	7.38% （+0.09）	8.43円 （+0.02%）	+1.1% 2017年2Q	6.75%	CPIは市場予想をやや下回る結果。中銀は政策金利の据え置きを決定。市場予想が利下げに傾いていたことから、国債利回りは上昇。ランドは対米ドルで下落、対円で小幅上昇。	貿易統計などの発表を予定。主要国における中銀などのイベントを控え、同国の債券・為替市場は海外市場の影響を受けやすく、不安定な国内情勢も加わり、変動の大きい展開を予想。
	Baa3	 金利上昇	 ↓	 景気鈍化	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	6.01% （▲0.09）	0.84円 （+0.60%）	+5.0% 2017年2Q	4.25%	市場予想に反して、中銀は政策金利を0.25%引き下げることを決定。19日に行われた国債入札で、投資家の需要が強かったことを受け、国債利回りは低下。市場の円安傾向を受けて、ルピアは対円で上昇。	マネーサプライの発表などを予定。中銀が市場予想に反して追加利下げを決定したことなどを背景に、国債利回りは低下しやすい地合いを予想。ルピアは安定的に推移する見込み。
	Baa3	 金利低下	 →	 景気拡大	 利下げ局面		
インド 	BBB-	6.66% （+0.11）	1.73円 （▲0.35%）	+5.7% 2017年2Q	6.00%	米国の年内利上げ見通し維持や地政学リスクの再燃などを受けて、ルピーは対米ドル、対円でともに下落。景気刺激策の発表に伴う財政赤字拡大懸念などから、国債利回りは上昇。	主な経済指標の発表はなし。主要国における中銀などのイベントを控え、債券・為替市場は海外市場の影響を受けやすいものの、安定した国内情勢から底堅い推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい	 →	 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

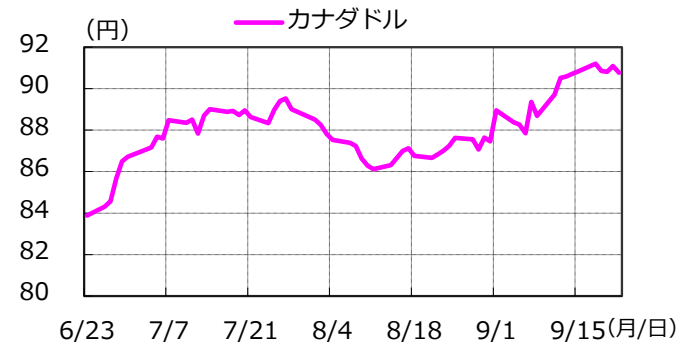
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

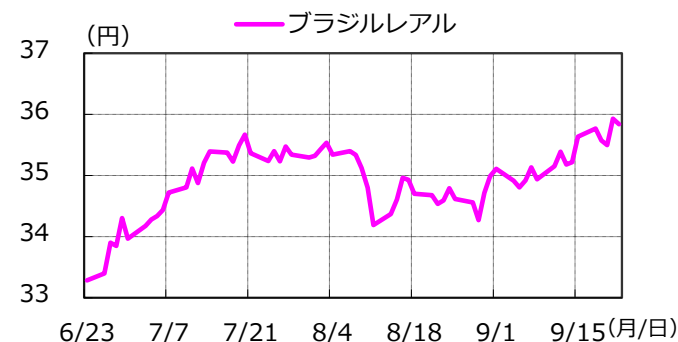
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/6/23～2017/9/22

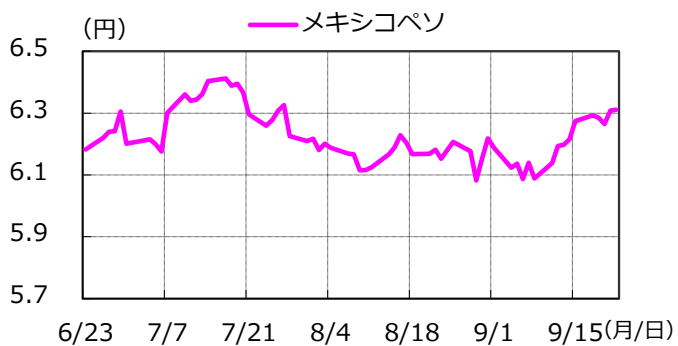
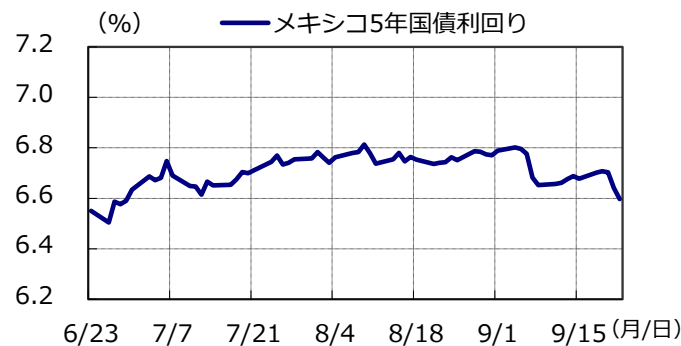
カナダ



ブラジル



メキシコ

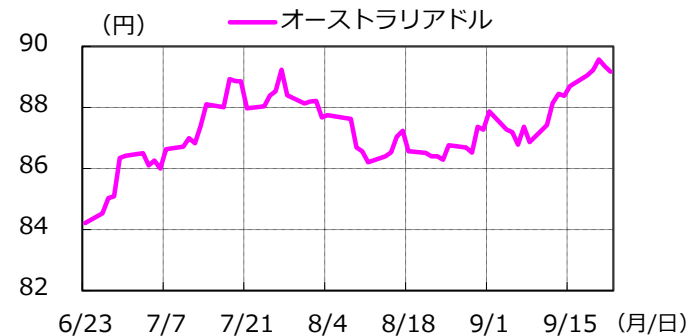
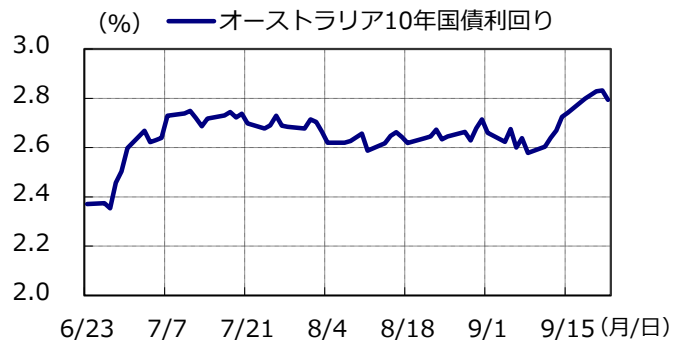


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

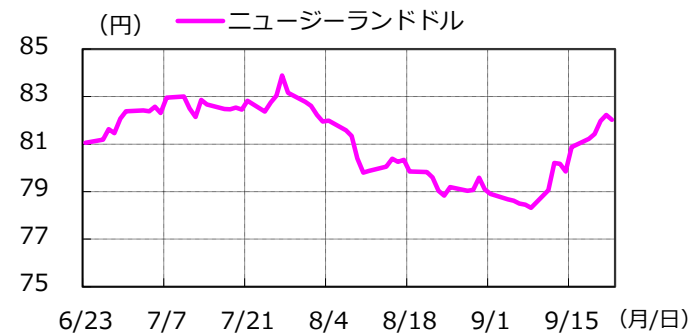
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/6/23～2017/9/22

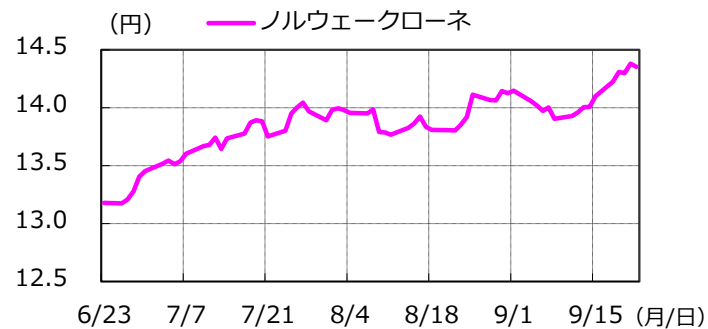
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

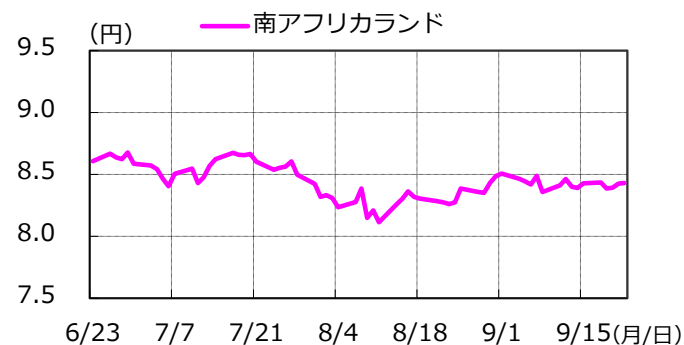


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

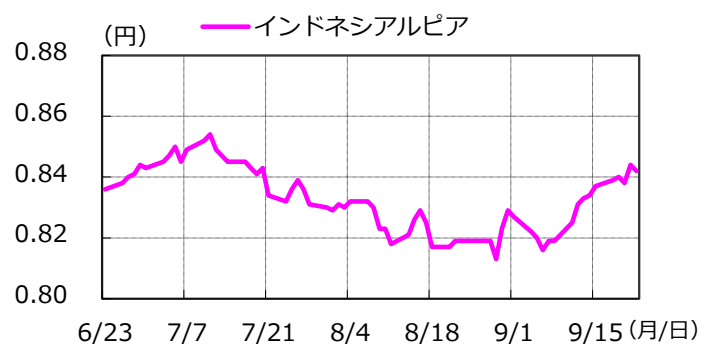
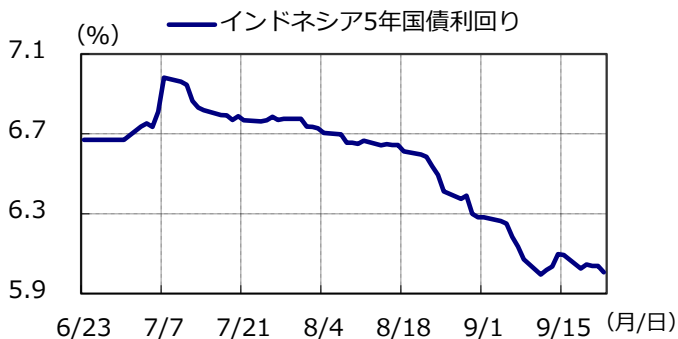
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/6/23～2017/9/22

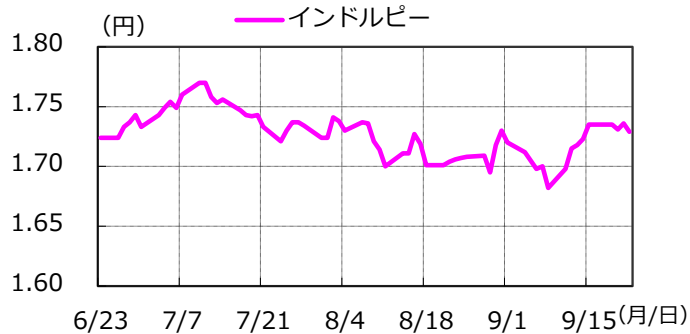
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。